

防衛

Bouei Hokkaido
August 2016
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense

Vol. 47

北海道

平成28年8月号



第9次要員隊長 相園 1佐

第10次要員隊長 中力 1佐



現地での集合写真



新千歳空港で家族の見送りを受ける派遣隊員

(写真提供：第7師団司令部総務課広報・渉外班)

目次

- ・第33回 防衛問題セミナー（登別市）・・・2, 3
- ・南スーダンPKO派遣施設隊（第10次要員）・・・4
- ・派遣施設隊に防衛技官2名派遣・・・4
- ・第7師団創隊・東千歳駐屯地創立記念行事・・・5
- ・浜大樹訓練場で揚陸訓練を実施・・・6
- ・防衛施設と周辺地域との調和を図るために・・・7
- ・絆(きずな)～白老町と白老駐屯地の紹介～・・・8
- ・平成28年度北海道基地協議会総会・・・9
- ・北海道防衛局幹部紹介・・・9
- ・平成28年度官庁訪問の案内・自衛官募集・・・10

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011-272-7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



第33回防衛問題セミナー

テーマ：自衛官が語る

あなたの知らない自衛隊の災害派遣活動



北海道防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動などについて幅広く国民の皆様にご理解をいただくため、平成19年度から道内各地において防衛問題セミナーを開催しています。

平成28年6月17日（金）に登別市において第33回防衛問題セミナー「自衛官が語る あなたの知らない自衛隊の災害派遣活動」をテーマに、登別市、登別商工会議所、登別市自衛隊協会及び自衛隊札幌地方協力本部の後援をいただき防衛問題セミナーを開催し、567名の方々にご来場いただきました。

冒頭、山岡北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて登別市の小笠原市長から後援者を代表して御挨拶を賜り、講演に入りました。

来場者からは、「自衛隊の役割や活動がよく理解できた。」「自衛隊の災害派遣の実績は想像以上だった。市民として知らない話が聞け、大変興味深く聞けた。」などの声が寄せられました。



講演

講演1部では、陸上自衛隊北部方面施設隊副隊長の中田1等陸佐から「自衛隊の災害派遣活動～東日本大震災の経験から～」と題して、東日本大震災直後の自衛隊の災害派遣活動の状況や行方不明者捜索のための瓦礫除去作業などについて、自らの体験に基づき講演していただきました。



中田 副隊長



講演2部では、陸上自衛隊第13施設隊副隊長の小竹2等陸佐から「幌別駐屯地～地域と共に～」と題して、幌別駐屯地の沿革や活動の紹介、道内外で行った災害派遣活動などについて講演していただきました。



小竹 副隊長

北海自衛太鼓及び登別市民チームによる演奏

講演後、地元幌別駐屯地の隊員で構成される「北海自衛太鼓」、登別市民チーム「颯(はやく)太鼓」及び「登別太鼓」による演奏が催され、来場者を沸かせました。



颯太鼓



登別太鼓



北海自衛太鼓



3チームによる合同演奏

当局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動等について、多くの皆様に御理解を深めていただけるよう、今後も各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。

南スーダン派遣施設隊（第10次要員） 第7師団から初のPKO派遣

第7師団は5月21日、東千歳駐屯地において「国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）」派遣施設隊第10次要員の壮行会を行いました。

今回、派遣される第10次要員は、第7師団隷下の第11普通科連隊長、^{ちゅうりき}中力1佐を隊長に、第7師団隷下部隊を主体とした隊員約350名が派遣され、約6か月間にわたり、南スーダンの首都ジュバ及び同周辺において国連施設の整備、道路整備などの任務にあたります。

壮行会には、第7師団が所在する千歳市、恵庭市、北広島市の各市長ほか約30名の来賓及び派遣隊員家族など約850人が参加しました。出国準備完了報告を受けた熊田防衛大臣政務官は「これまでに築いた国際社会からの高い評価を受け継ぎ、しっかりと職責を果たしてほしい。」と訓示し、派遣隊員を激励しました。

5月22日、先発隊の約130名の見送りが新千歳空港で行われ、北部方面総監岡部陸将、中央即応集団司令官川又陸将、第7師団長田浦陸将を始め、派遣元部隊長及び派遣隊員家族など、大勢が集まり先発で派遣される隊員を見送りました。

第10次要員は、引き続き、主力が南スーダンへ向け第1波約120名が6月1日、第2波約100名が6月15日に新千歳空港を出発しました。

今後、派遣部隊は現地の状況を踏まえながら、国連施設内外における道路補修や敷地造成などの活動を行う予定です。



出国準備完了報告に対する熊田防衛大臣政務官からの訓示



道路補修状況

(写真提供：第7師団司令部総務課広報・渉外班)

派遣施設隊（第10次要員）に 防衛技官2名を派遣

南スーダン派遣施設隊には第1次要員から防衛技官2名を派遣しています。

第10次要員においても整備計画局施設計画課に所属する濱川部員（設備職：札幌防衛施設局（現北海道防衛局）での勤務経験あり）と服部係長（建築職）が派遣されました。2名の技官は派遣施設隊の隊本部で企画補佐として、施設整備の計画・調整、設計、施工等やUNMISS司令部との調整などにおいて技術的なサポートを実施します。

南スーダンにおいてもこれまで自衛隊施設や提供施設などの建設工事で培った技術や経験を生かした防衛技官ならではの活躍が期待されるそうです。



新千歳空港で見送りを迎える派遣技官（中央：濱川部員、中央左：服部係長）

第7師団創隊61周年・東千歳駐地創立62周年記念行事

4月30日、第7師団（師団長 田浦陸将）創隊61周年、東千歳駐屯地（駐屯地司令沖邑^{おきむら}陸将補）創立62周年記念行事が行われ、同駐屯地が一般開放されました。

今年の記念行事は、熊本地震の災害復旧に部隊派遣した状態であったため、第7師団及び東千歳駐屯地から派遣された第7後方支援連隊、第7特科連隊第1特科大隊、第11普通科連隊重迫撃砲中隊及び第7通信大隊第1通信中隊については、指揮官以下主力が熊本で活動を行っているという状況下での開催となりました。

田浦師団長は式辞で「熊本の復旧・復興を祈る思いを伝えるとともに、現地に部隊を派遣しながらも我が国の防衛に必要な練度を向上し続ける部隊の姿をご覧頂き、また、突発的な災害に際して隊員が後顧の憂いなく任務に専念できる態勢や環境を提供して頂いている隊員の家族や地域の皆様に対して感謝の気持ちをあらわしたいという思いから、本記念行事を挙行することとした。」と述べられ、更に、第7師団は、陸上自衛隊唯一の機甲師団として部隊を鍛えつ

つ、その一方で、一部の部隊を九州に転用して災害派遣任務を遂行していることなどが紹介されました。

引き続き沖邑陸将補を観閲部隊指揮官として、隊員約1,300名と装軌車約300両による陸上自衛隊最大級のパレードが行われ、機甲師団の威容が示されました。

当日は、大型連休の2日目で、また、寒波が流入したあいにくの天候にもかかわらず、約8,500人の来場者が詰め掛け、活況を呈しました。



装軌車300両による陸上自衛隊最大級のパレード

(写真提供: 第7師団司令部総務課広報・渉外班)

北海道防衛局によるPR活動の実施

北海道防衛局は、各師・旅団の創立記念行事等に合わせて、防衛局ブースを設置し、「防衛省・自衛隊の組織・活動」のパンフレット、防衛局の広報誌「防衛北海道」等を配布して、防衛省・自衛隊のPR活動を行っています。



写真

- 左：第11旅団（真駒内）
- 右：第2師団（旭川）
- 下：護衛艦一般公開（室蘭港）



配布した
パンフレットなど

浜大樹訓練場で揚陸訓練を実施

平成28年7月9日及び10日の両日、浜大樹訓練場（広尾郡大樹町）において、中部方面隊第14旅団（香川県善通寺市）は、北海道への転地演習の一環として、海上自衛隊のおおすみ型輸送艦「くにさき」に搭載されたエアクッション艇（通称：LCAC）を使用し、隊員と車両を海岸まで輸送、上陸させる揚陸訓練を実施しました。

この揚陸訓練は、陸上自衛隊と海上自衛隊の協同訓練として実施したものです。



北海道防衛局の業務

北海道防衛局は、この訓練を行うにあたり、関係漁業協同組合と調整を図り、同組合長からの同意を得て、訓練海面の設定を行っています。

また、本訓練において、漁業の操業制限による損失が生じた場合には、漁業者の委任により同組合長が提出する損失補償申請書を基に、補償すべき損失について漁業補償額を算定し、補償を行っています。

帯広防衛支局の業務

この揚陸訓練で使用する海岸線は、全て海岸保全区域に指定されていますので、海岸使用については許可権者である北海道知事の同意を得なければなりません。

帯広防衛支局では、この訓練に先立ち、知事と海岸保全区域の占用協議など、使用に係る手続きを行っています。

防衛施設と周辺地域との調和を図るために ～民生安定施設整備事業（農業用施設）の紹介～

防衛施設周辺においては、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、公園、消防施設、漁業用施設等の各種施設を補助対象施設として助成を行っています。今号ではこのうち農業用施設の整備事業である鹿追町の瓜幕バイオガスプラントについてご紹介します。

鹿追町に所在する然別演習場では、砲撃等による射撃訓練や、ヘリによる戦闘訓練により驚いた乳牛が暴走しけがをするなど、農業経営に影響を及ぼしています。

鹿追町は、民生安定施設整備事業の農業用施設である瓜幕バイオガスプラントを平成24年度から平成27年度にかけて整備し、北海道防衛局では、総事業費約23億円のうち約13億円を助成しました。

本年2月に完成、4月から本格稼働を開始した本施設は、近隣酪農家から排出される家畜ふん尿から消化液（液肥）やバイオメタンガスを生産する施設であり、ふん尿処理に係る農作業の低減や消化液の利用による農業経営の安定に寄与するものと考えています。

今後も当局では、防衛施設の設置又は運用による障害を緩和するため、防衛施設周辺における生活環境施設や事業経営の安定に寄与する施設に対して助成していきたいと考えています。

◆施設の概要

総事業費：約23億円
 (うち補助対象事業費：約19億円)
 補助額：約13億円
 処理能力：210t/日
 (成牛換算3,000頭分)

町の担当者の声：

地域から要望のあったバイオガスプラントが整備できたため循環型社会が形成され、基幹産業である農業の生産力が向上し経営安定が推進され、地域経済活性化が期待できます。

利用者の声：

家畜ふん尿の適正処理に苦慮していましたが、瓜幕バイオガスプラントの利用により、ふん尿処理に係る作業の低減が図られ、さらなる生産力の向上を目指すことが可能になりました。



(フロー図)



絆

(きずな)

～ 白老町と白老駐屯地の紹介 ～



北海道白老町

「みんなの心つながる 笑顔と安心のまち」

〒059-0995

北海道白老郡白老町大町1丁目1番1号

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/>



戸田安彦町長

■町長挨拶

白老町

白老町は、北海道の南西部、胆振管内の中央に位置し、東は苫小牧市、西は登別市に隣接し、南は太平洋に面しています。海岸に沿って良質な温泉が湧出し、豊富な山海の幸と豊かな自然に守られた美味の宝庫となっております。特に、黒毛和牛の白老牛は、洞爺湖サミットにも利用された最高の黒毛和牛で、各国の首脳からも高い評価を得ており、虎杖浜たらこやしいたげなどとともに、「食材王国しらおい」ブランドとして、広く全国に出荷されております。

また、2020年にはアイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして、民族共生象徴空間が整備され、新たに国立アイヌ民族博物館や国立民族共生公園、慰霊施設が誕生し、町の活性化が大いに期待されます。当町としてもこれを契機に、来訪者の回遊性を向上させる取り組みを展開しながら、国内外の人々が交流し、活気のあるまちづくりを進めていきます。

■自衛隊との関わり

陸上自衛隊白老駐屯地は、北部方面隊、特に道央・道南部隊に対する弾薬の出納・保管、整備・検査などの弾薬支援を行う、陸上自衛隊において日本最大の規模を誇る弾薬支処であります。

近年、高潮、大雨による洪水被害、行方不明者の捜索活動など、多様な自然災害や事故が発生しており、自衛隊による支援や協力は、いまや町民にとって、欠かすことの出来ない安心となっております。

また、本町の一大「産業まつり」として位置付けられる「元気まちしらおい港まつり」や、防災訓練、防災フェアなどにも協力いただいているほか、駐屯地記念事業での一般開放により、多くの町民との交流も深めております。

今後も、町と駐屯地が互いに手を取りあい、共に発展していけるよう取り組んでまいります。



白老牛の放牧風景



新緑のポロト湖



しらおい防災フェアの様子

白老駐屯地

白老駐屯地は、白老郡白老町の山間部に位置する大自然に囲まれた駐屯地です。

駐屯地の歴史は昭和31年、白老町の誘致に基づき工事が開始され、昭和33年2月幌別駐屯部隊白老分屯地として開設されました。また同年に東千歳弾薬支処から弾薬の移積が開始され、翌年4月に白老駐屯地として発足しました。昭和44年、東千歳弾薬支処の縮小に伴う大規模な弾薬移積演習が実施され、昭和58年、クレーンやフォークリフト等の荷役器材が使用可能な新型の地中式火薬庫の第1号が完成したのを皮切りに、各種火薬庫及び生活関連施設等も次々と完成し、平成18年、警衛所の立て替えとともに現在の姿になりました。白老駐屯地は、陸上自衛隊北海道補給処白老弾薬支処、第313基地通信中隊白老派遣隊、第122地区警務隊白老連絡班、北部情報保全隊北千歳派遣隊白老連絡官が所在しています。

小さい駐屯地ですが、白老駐屯地司令の要望事項「信頼・協力・謙虚」を胸に、地域の皆様に信頼され、地域に異和感なく存在する駐屯地を目指して日々業務に取り組んでいます。



開設時の本部隊舎（昭和33年）



現在の本部隊舎（平成28年）

平成28年度 北海道基地協議会総会

北海道内に自衛隊等の基地が所在し、若しくはその周辺の自治体をもって組織する「北海道基地協議会」（会長：山口千歳市長）の平成28年度総会が5月19日旭川市で開催され、12市15町の首長等のほか、防衛省地方協力局から古川周辺環境整備課長、北海道防衛局から山岡局長、総務省及び北海道から合わせて約35名が出席しました。

総会の冒頭、山口会長は、熊本地震で被災された方々へのお見舞いと自衛隊の活躍について、また、会員の精力的な活動により、国の平成28年度予算が確保されたことに感謝したいと述べられました。

続いて開催地である旭川市の西川市長が、防衛施設周辺整備事業の活用や自衛隊との良好な関係を維持発展させながら、会の目的が実現できるよう一緒に頑張っていきたいと挨拶されました。



第2師団長 住田陸将の説明



山口千歳市長の挨拶

この後、古川課長から平成28年度予算に係る防衛省所管の基地対策経費について、総務省自治税務局固定資産税課の森課長補佐から総務省所管の基地交付金及び調整交付金についてそれぞれ説明を行いました。

総会終了後、参加者は陸上自衛隊旭川駐屯地を訪問し、装備品の視察後、第2師団長住田陸将から熊本地震における同師団の派遣について説明が行われ、聴講された方々は、地元部隊の活動状況について熱心に聞き入っていました。

北海道防衛局幹部紹介 7月1日付

局長 吉田 廣太郎

この度、北海道防衛局長を拝命いたしました吉田です。
北海道防衛局は、道内に所在する防衛施設を安定的かつ円滑に運用するため、その管理、整備や周辺対策事業等の諸施策を行うとともに、防衛行政を進める上での地方の拠点としての役割を担っております。
皆様ご案内のとおり、北海道には、我が国最大の演習場である矢臼別大演習場や航空自衛隊千歳基地を始めとする、わが国の防衛力と日米安全保障体制を支える重要な施設が数多く所在し、日常的かつ高度に運用されていますが、そのためには、地域の自治体等との協力、理解が必要なのは申し上げるまでもありません。
国の防衛は、国家の最も基本的な施策であります。国民一人ひとりにより支えられてこそ、その役割を果たし得るものです。当局は今後とも、近年の社会情勢や国際環境のめまぐるしい変化を踏まえつつ、防衛省・自衛隊の役割と活動について丁寧に説明を行い、道民の皆様からご理解とご協力、そして信頼が得られるよう努めてまいります。そして、微力ながら私も、職員と共に力を尽くしてまいります所存ですので、引き続き防衛行政及び当局業務に対するご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



次長 三輪 恒佳

北海道勤務は初めてですが、妻が帯広市の出身で、義理の兄弟や親戚も道内にいることから、東京出身の私にとっては本当にふるさとに勤務する気持ちです。
地方防衛局の仕事は、自衛隊が円滑に活動できるよう、地域や住民の方々への自衛隊へのご理解を深めていただくための施策を実施することですが、私も北海道と防衛省・自衛隊との距離が一層縮まるように微力を尽くしていきたいと思っております。



企画部長 辻 吉巳

7月1日付けの人事異動で企画部長を拝命しました辻です。
北海道は、私のふるさとであり、27年ぶりの勤務でもあり、大変懐かしく、また嬉しく思っております。
当部の業務は、防衛行政に関して、地方公共団体等との調整を行い、地域の方々のご理解とご協力をいただくことなどです。
今後とも、地域の皆様のご意見をしっかりと伺いながら、防衛施設周辺地域との一層の調和を図るため、努力してまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。





平成28年度 国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

官庁訪問のご案内

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）受験者の方を対象に官庁訪問を実施致します。今年度採用予定機関の「北海道防衛局」と「陸上自衛隊」が合同で行います。なお、事前の申込みが必要となります。詳しくは防衛省ホームページをご確認ください。

受付開始：8月18日（木）1400～
（防衛省HP採用情報より申込みください）
開催日時：8月22日（月）1000～8月24日（水）
※2日目以降は0900～
開催場所：陸上自衛隊札幌駐屯地

防衛省採用情報



<http://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html>



平成28年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生（男子）	18歳以上27歳未満の男子	年間を通じて行っております。	札幌：8月27日（土）・28日（日） 9月19日（月）～21日（水） 23日（金）・24日（土） 27日（火）～29日（木） 旭川：9月 2日（金）・ 3日（土） 18日（日）・19日（月）・21日（水） 24日（土）・26日（月）・28日（水） 函館：9月10日（土）～12日（月）・19日（月） 20日（火）・24日（土）・25日（日） 帯広：9月24日（土）・25日（日） 28日（水）～30日（金）	合格発表は試験日にお知らせします。
自衛官候補生（女子）	18歳以上27歳未満の女子		9月23日（金）～27日（火） ※いずれか1日を指定されます。	11月4日（金）
航空学生	高卒（見込含） 21歳未満の男女	7月 1日（金） ～ ※1 9月 8日（木）	1次： 9月22日（木） 2次：10月15日（土）～20日（木） 3次：11月12日（土）～12月15日（木）	1次： 10月 7日（金） 2次：海 11月 9日（水） 空 11月 4日（金） 最終：29年1月23日（月）
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の男女		1次： 9月16日（金）・17日（土） 2次：10月 6日（木）～12日（水） ※いずれか1日を指定されます。	1次： 9月30日（金） 最終：11月11日（金）
防衛大学校 学生	推薦	※2	9月 5日（月） ～ 9月 8日（木）	9月24日（土）・25日（日） 10月28日（金）
	総合選抜		9月 5日（月） ～ 9月30日（金）	1次： 9月24日（土） 2次：10月29日（土）・30日（日） 1次：10月14日（金） 最終：11月25日（金）
	一般（前期）	高卒（見込含） 21歳未満の男女 （自衛官は23歳未満）	9月 5日（月） ～ 9月30日（金）	1次：11月 5日（土）・ 6日（日） 2次：12月 6日（火）～10日（土） 1次： 11月25日（金） 最終：29年1月20日（金）
	一般（後期）		29年 1月21日（土） ～ 1月27日（金）	1次：29年2月18日（土） 2次：29年3月10日（金） 1次：29年3月 3日（金） 最終：29年3月17日（金）
防衛医科大学校	医学科学生	高卒（見込含） 21歳未満の男女	9月 5日（月） ～ 9月30日（金）	1次：10月29日（土）・30日（日） 2次：12月14日（水）～16日（金） 1次： 11月30日（水） 最終：29年2月15日（水）
	看護学科学生 （自衛官候補看護学生）		9月 5日（月） ～ 9月30日（金）	1次：10月15日（土） 2次：11月26日（土）・27日（日） 1次： 11月11日（金） 最終：29年2月 3日（金）

※1：8月1日（月）から7月1日（金）に変更になっております。

※2：高卒（見込含）21歳未満の男女で、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



函館地方協力本部
0138(53)6241



帯広地方協力本部
0155(23)5882

おことわり：本号に登場している方々の職名等は当時のままとなっています。